



TAKE OFF press

TAKEO Future Frontier

【校是】質実剛健 報恩感謝

佐賀県立武雄高等学校

校長通信 NO. 11 R5. 09. 01

文責 学校長 下村 昌弘

E-Mail shimomura-masahiro@education.saga.jp



学校 HP

探究の旅が始まる ―2 学期はトライ & エラーの季節―

「かえるがいる」。

岡山県にある大原美術館で4歳の男の子がモネの《睡蓮》を指差して、こんな言葉を発したことがあったそうです。そばにいた学芸員は「えっ、どこにいるの」と聞き返しました。

すると、その男の子はこう答えたそうです。「いま水にもぐっている」。(末永幸歩『13歳からのアート思考』ダイヤモンド社)

皆さんはこの話を聞いて“ばかばかしい”“つまらない”と思ったでしょうか？ 私は子どもの発想の純粹さに改めて感心させられました。



睡蓮 クロード・モネ 1916年 国立西洋美術館所蔵
<https://www.nmwa.go.jp/ip/collection/1959-0151.html>

私たちは、画に限らず芸術作品を見る時、その題名や制作年、解説などを読んでなんとなく理解したような気になるものです。「こう見るべきだ」「普通はこうだ」。実は日常というものは、ほとんどこうした「思い込み」と「当たり前」に満ち溢れています。

VUCA*時代と言われる今日、“アート思考”が注目されています。アーティストのように考える方法で、①自分だけのものの見方で世界を見つめ、②自分なりの答えを見つけ出し、③それによって新たな問いを生み出す、こうした思考プロセスのことです。

このように考える“型”を鍛えることがいわゆる Society5.0、新たな価値の創造が必要となるこれからの時代を生きる原動力になるわけです。(*VUCA: Volatility (不安定さ), Uncertainty (不確実性), Complexity (複雑性), Ambiguity (曖昧さ)の頭文字をとったもの)

この“アート思考”とは探究そのものの考え方だと思います。

夏休みに体験したことを振り返る時、またこれから学校祭を始め、総合的な探究の時間など、総合力を要する時は、特にこうした思考方法を鍛える絶好のチャンスなのです。そこに正解はありません。自分の頭で、自分の言葉で考えることが貴いのです。

さあ、2学期のスタートです。様々な学校行事が目白押しです。もちろん教科の学習、模擬試験、総合的な探究の時間のカリキュラムもどんどん進んでいきます。部活動や生徒会活動も佳境に入って大忙しとなることでしょう。

2学期はトライ&エラーの季節でもあります。大いに挑戦し、大いに励んでください。失敗していいじゃないですか。実のところ、“成功”は再現性が極めて低いものです。甲子園優勝、オリンピック1位、、、こうしたことを2度、3度と続けられる人は極めて稀です。

人は必ず失敗するものです。挑戦するから失敗するのです。目標があるからこそうまくいかないことが分かるのです。大事なそこに向かって歩み、うまくいかなかったらそれを振り返ることです。

人はず失敗するものです。挑戦するから失敗するのです。目標があるからこそうまくいかないことが分かるのです。大事なそこに向かって歩み、うまくいかなかったらそれを振り返ることです。

その中で自分なりに考えることを大切にしましょう。2学期のトライを大いに期待しています。



“こころ” 疲れていませんか ―自分のことは自分が一番わからないものです―

「最近、気分が沈む」「憂鬱」「元気が出ないなあ」といったことはありませんか。夏の暑さによる肉体的疲労？ あるいはあなたの心が少し疲れているのかもしれません。

ストレスを過度にためず、うまく付き合っていくためには、まずはストレスの状態を客観的に知ることが有効です。しかし、案外自分のことは実は自分が一番わからないものなのかもしれません。

右の QR コードは「佐賀市こころの体温計」というストレスチェックのサイトです。自分の心をメタ認知する一つの方法として紹介します。匿名でいくつかの項目をチェックすると金魚鉢の金魚にたとえてあなたの心の状態をイメージさせてくれます。



また、悩みは誰かに相談することで気が楽になったり、解決策に気が付いたりすることもあります。一番話しやすい人に話してみましょう。

校長室へも遠慮なく来てみてください。扉が開いていたら“どうぞお入りください”の合図です。悩みに限らず、いつでも遠慮なく。待っています！

AI で校歌を作る?! ―チャレンジな取組に敬意!―

三重県桑名市に令和 8 年度開校する小中一貫教育校(市立多度学園)の校歌制作に AI(人工知能)を使うということが発表されました。歌詞に取り入れたいキーワードを地区の子どもたちや保護者から募集し、それをもとに仕上げるそうです。

今、徐々に生成 AI が取り沙汰されていますが、まさに画期的な取組です。皆さんは賛成？ 反対？ どう感じるでしょうか。議論してみたいですね。



新しいことにチャレンジすることはとても素敵なことです。県内のある高校は夏の軽装(ポロシャツ・短パン)を決めました。また別の学校は来年度から制服をなくすことを決めました。まさに今、既成の価値観にとらわれずに新しい発想することが求められているのかもしれません。

これってちょっとヘンじゃない？ こうしたら面白いかも！ なにかにピンときたらそこは深掘りのチャンス！ きっといい探究になるはずです。正解は一つではない時代です。考えるところに道は拓ける。TAKE OFF 魂の見せ時です！

“ふるさと納税”で武雄高校に支援くださいー保護者・同窓生の皆様へのお願いー



8 月初旬、国立科学博物館が光熱水費の支援に特化したクラウドファンディングを実施したニュースがありました。実のところ本校も他所事ではなく、光熱水費や物価高騰により運営費が逼迫し、このままでは用紙購入もままならなくなり、従来の教育活動に支障をきたすのではないかと心配しています。

そこで、本県ではふるさと納税で応援したい学校を指定して寄附ができる制度があり、その制度を活用して武雄高校への電気代や運営費の支援をお願いできればと考えています。

本校でも引き続き節約に努めていきますが、本校の卒業生など県内外のお知り合いの方にご紹介いただけると幸いです。

寄附のお申し込み

🔍 佐賀県 プロジェクト応援寄附

プロジェクト概要が
知りたい方や
個人の寄附はこちら



法人・団体の
寄附はこちら

